

# JAS材の計画的な調達・製材を可能にする流通モデルを作成

**JAS材（強度が明らかな木材）の計画的な調達および用途に応じた木材利用のため、強度測定アプリを活用した新たな流通の仕組みを構築しました。**

背景

- ・木造建築(中・大規模の建築物等)の増加に伴い、JAS材の計画的な調達が求められている。
- ・JAS規格の適否は製材後に判明するため、あらかじめ丸太を多めに調達せざるを得ず、製材工場でロスが発生している。

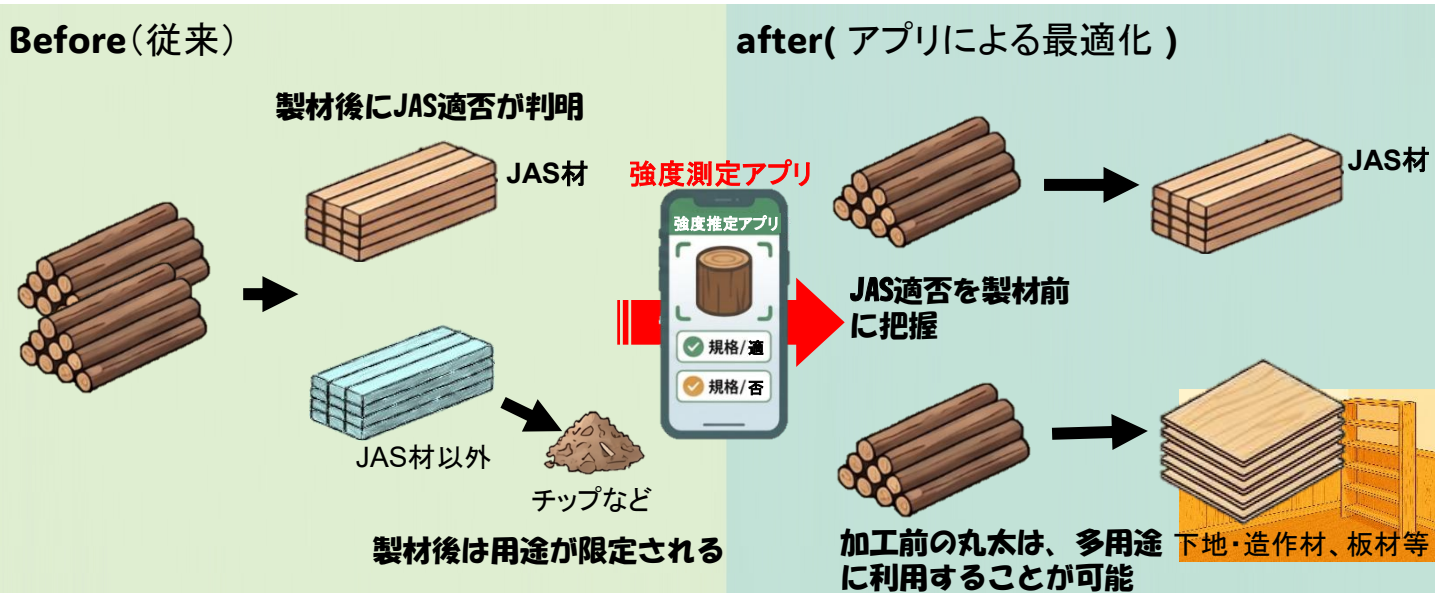
課題等

- ・JAS材の計画的で効率的な調達には、丸太段階で強度情報を付与する生産・流通体制の構築が必要。

## ●丸太段階で強度を推定できるアプリを企業と開発

スマホに装着した計測器を丸太の木口にあて、ハンマーで打撃した際に発生する振動を測定することで、強度を推定

## ●丸太強度をデータ化し、JAS材を計画的に生産！



## 丸太調達から製材まで情報とセットの新しい流通へ



研究成果

- ・ スマホアプリで丸太の強度をデータ化し、JAS材の計画的な生産と資源の無駄を削減する新しい流通の仕組みを構築しました。

今後の展開

- ・ JAS認定製材工場や木材組合連合会を中心にモデルの普及を進め、持続的な府内木材の流通システム構築を目指します。